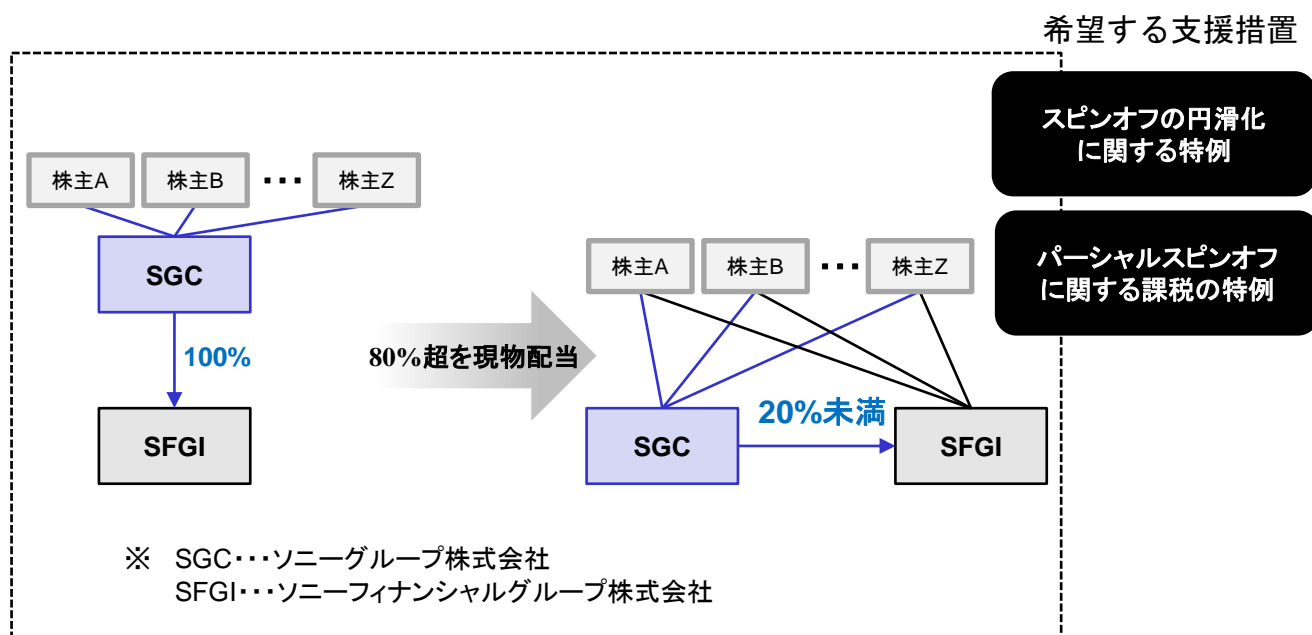


ソニーグループ株式会社の「事業再編計画」のポイント

ソニーグループ株式会社(SGC)は、その金融子会社であるソニーフィナンシャルグループ株式会社(SFGI)の発行済株式の80%超をSGCの株主に現物配当すること(パーシャルスピノフ)による事業再編を行う。

これにより、SGCとSFGIがそれぞれの中核事業に経営資源を集中してそれぞれの事業成長を図り、企業価値の一層の向上を目指す。



【生産性の向上】

・計画最終年度(令和9年3月期)に、令和7年3月期に比して、金融事業を除く事業の修正ROIC(※)を2.0%向上させる。

【財務の健全性】

・計画最終年度に、金融事業を除く事業において以下の数値を達成する。

- ・有利子負債/キャッシュフロー ▲1.3倍
- ・経常収支比率 118.5%

【新商品・新サービスの開発・提供】

・新商品、新サービスの開発・提供による売上高を、計画最終年度に連結売上高(金融事業を除く)の1%以上とすることを目標とする。

【計画の実施期間】

・令和7年10月(パーシャルスピノフの実施)～令和9年3月

※本事業再編計画における修正ROICは産業競争力強化法に基づく事業再編の実施に関する指針一イ(1)に定める定義によっており、SGCが開示しているセグメント別ROICとは異なります。